

令和6年度 長崎市立土井首中学校学力向上プラン

日本国憲法 教育基本法
学校教育法 学習指導要領
県・市教育方針

本校の教育目標
主体的に行動し、気づく目・感じる心
をもちながら、夢の実現に向かう生徒
の育成

生徒・地域の実態
教師・保護者・地域の願い

学力向上にかかわる学校教育目標の「めざす生徒像」

- 意欲的に自分の意見を言える生徒 ○相手の気持ちを考えて行動する生徒
- 仲間の大切さを意識して動く生徒 ○夢や目標をもち、計画的に取り組む生徒
- 自分の良さに気づき生かせる生徒 ○前向きに挑戦する生徒

校内の研究主題

探究の過程を重視した生徒主体の学習活動の充実

生徒主体
の学び

- 「探究の過程の重視」・・・「総合的な学習の時間」を中心とした各教科の探究学習
→学ぶ意義や喜びを実感する。
- 「表現活動の充実」・・・自他の意見や考えを大切にしたい温かい授業の創造
→成功体験の積み重ね、根拠をもとに表現する力の育成

確かな学力の向上

明日を拓く生徒

- 主体的に学び、確かな学力を身につけた生徒
- 夢や目標に向かって、将来を切り拓く力を身につけた生徒

長崎市・長崎県・全国学力調査結果から
2年数学は前年と比較したときに
伸びが見られ市平均に追いつ
いた。また、国語の「書くこと」
は平均を大きく下回るが、昨年
からの比較で伸びが見られた。
無解答率が非常に高い。

学力調査分析結果を踏まえた本校の課題
○学年や教科により授業の雰囲気
に差があり、学力の伸びにばらつきが
みられる。→【学ぶ環境をつくる】
○粘り強く学ぶ雰囲気ができておら
ず、無解答率の高さにつながって
いる。→【学ぶ喜びを知る】

改善を把握する設定目標
○市や県の平均と比較して、前
年度の結果より3.0ポイント
以上向上する。
○前年度より無解答率が下がる。
(今年度は全国・県・市等
と比べて約2倍の無解答率)

土井首中で重点的に行う実践

- 「わかる授業づくり」→「めあて」の提示と振り返りを行う。研究授業や授業実践週の実践により、深い学びに迫る方策を全員で検討する。
- 「生徒主体の学び」→総合的な学習の時間を核として、探究の過程を重視した学びを行い、学ぶ楽しさや喜びを実感させる。
- 「個に応じた指導」→ティーム・ティーチングやICT活用により個に応じた指導の充実を図り、理解を深めるための手立てを工夫する。
- 「学ぶ雰囲気づくり」→生徒指導の視点による授業規律の確立や、特別支援教育の視点による授業のユニバーサルデザイン化などを推進し、全員が落ち着いて学ぶことができる雰囲気づくりを行う。

基礎学力班

- ・ チャレンジタイムの実践
- ・ 授業と家庭学習の連動

授業改善班

- ・ 個に応じた学び(ICT活用)
- ・ 授業研究、授業実践週
- ・ 学習規律

学力調査班

- ・ 学力調査結果の分析
- ・ 学力向上プランの検討
- ・ つまずきチェックシート